

いいづなまち

長野県飯綱町の廃校活用と まちづくり事業

2022年3月7日
株式会社カンマッセいいづな
吉川剛史

発表者自己紹介



吉川剛史
(よしかわつよし)

1980年生まれ 飯田市出身
信州大学経済学部→群馬大学大学院情報工学卒業

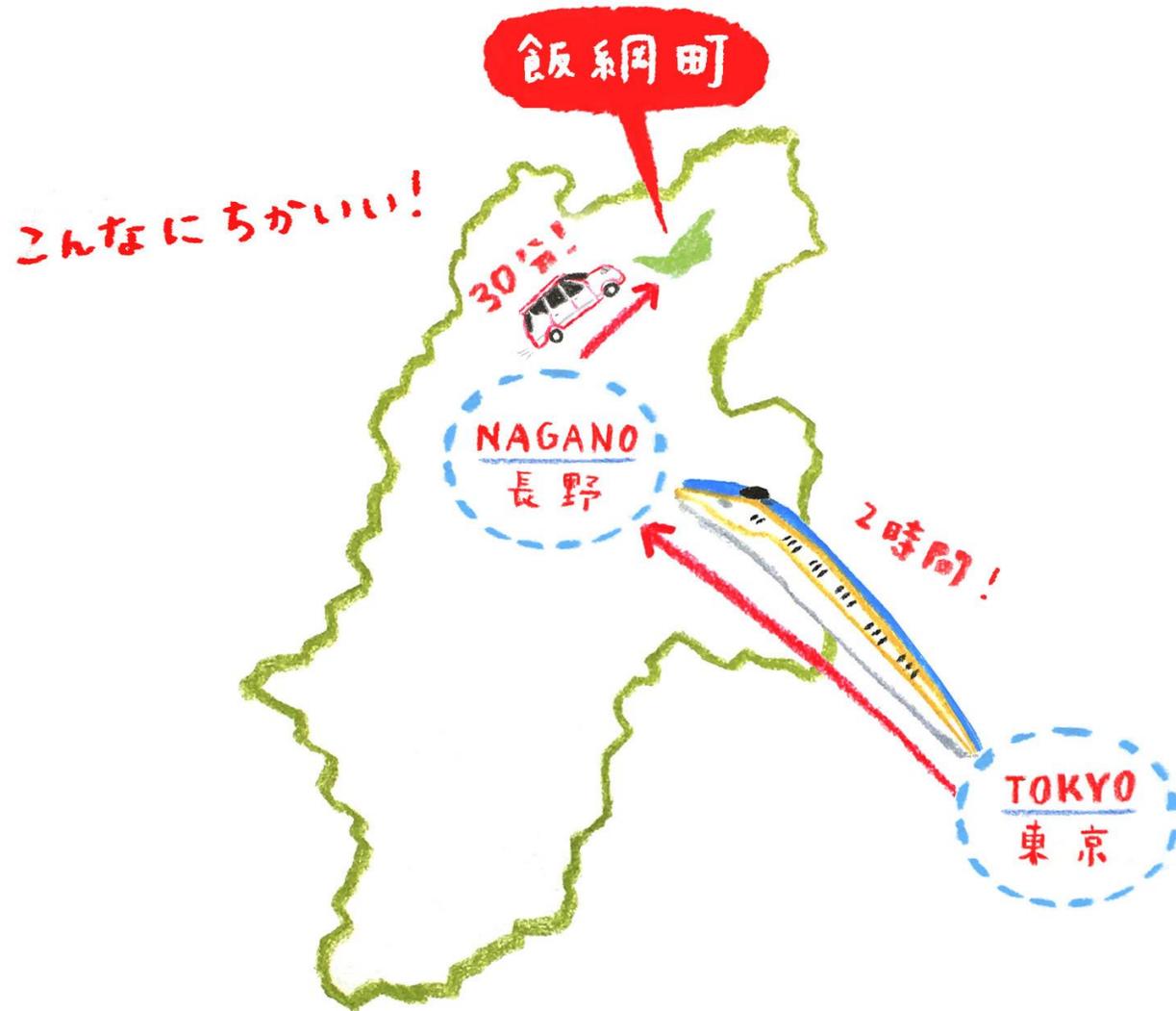
地元の自動車部品メーカーにて3年間車載用電子ユニットの開発に従事、その後上京し、埼玉の人材サービスベンチャー企業で、新規事業企画、バックオフィス部門として12年勤務。

仕事中心の12年間で、ビジネス社会で働くことに疲れ退職。

フリーター生活後、長野に帰ってくることに、地域に関わった仕事をしたいと思っていて、偶然出会った『株式会社カンマッセいづな』に惹かれて入社。
2019年10月家族で飯綱町に移住をする。

現在スローライフを楽しみながら、カンマッセいづなの事業全般に関わる。

飯綱町へのアクセス



長野駅から車で**30分**

電車で**21分**



飯綱町について

平成17年に牟礼村と三水村が合併してできた町

【人口】 約11,000人

【主要産業】 農業(りんご、お米)



全国のりんごの100個に1個は飯綱町産
50種類以上のりんごがある



町内全域の地図

株式会社カンマッセいづな紹介

カンマッセいいづなについて

2019年5月に創業した、『民間のまちづくり会社』
旧三水第二小学校、旧牟礼西小学校の跡地利用を主の目的に作られた会社。
カンマッセという言葉は、長野県北信の方言『かんます＝かきませる』という意味を持ち、地元の方と移住者、古きと新しきを混ぜ合わせて、新しい文化を作っていくという想いを込めています。
従業員数30名(1月1日時点)

<主な事業内容>

廃校活用事業



旧三水第二小学校、旧牟礼西小学校を活用して、あらたな町のにぎわいの場所を創出するカンマッセいいづなのメイン事業

ふるさと納税運営



飯綱町のふるさと納税の運営を受託町の農家さんや事業者さんと連携し、飯綱町の特産品を寄付者にお届けしています

通販サイト運営



飯綱町のおいしい農産物・特産物を購入できる、飯綱町公式通販サイト『みつどんマルシェ』の運営をしています

会社の存在目的

まちの「いつも」をおもしろく。

そのためのアクション

まちの「のびしろ」を再発見する。
交流から、共に「事業」を生んでいく。
町民の「多様なしあわせ」に寄与する。

事業内容

	事業名	町役場担当課	目的
1	ふるさと納税運営	総務課	農家支援、町外への情報発信、町外からの資金調達
2	ECサイト運営	産業観光課	農家支援、町外への情報発信、町外からの資金調達
3	りんごオーナー制度	産業観光課	町外からの資金調達
4	ワークセンター運営、 各種イベント実施	教育委員会	しごと提供、コミュニティづくり
5	いいいいいいづな運営	企画課	町外への情報発信
6	事業チャレンジ	企画課	しごと創り、コミュニティづくり
7	両校の施設管理・活用	企画課	全事業の活動拠点、地域の居場所・コミュニティづくり
8	こども向け フューチャースクール	企画課	町の将来を担う人材育成、コミュニティづくり
9	若者会議	企画課	しごと創り、コミュニティづくり
10	ZQ管理運営	企画課	移住者獲得、地域の居場所づくり、商店街の活性化
11	移住体験住宅管理	企画課	移住者獲得
12	ワーケーションイベント	企画課	移住者獲得、関係人口づくり
13	とちのき食堂 泉が丘喫茶室	－(自主事業)	地域の居場所づくり
14	打鍵	－(自主事業)	しごと提供

廃校活用事業

施設のご案内

2つの廃校にあった小学校の跡地にできた複合施設『いいづなコネクト』



旧三水第二小学校



旧牟礼西小学校



廃校活用に至る背景

- ・少子高齢化が進行し、人口が減少

1945年 15,719人 → 2015年 11,000人

- ・平成30年3月に町に4校あった小学校が2校に
地域の交流・憩いの場の喪失

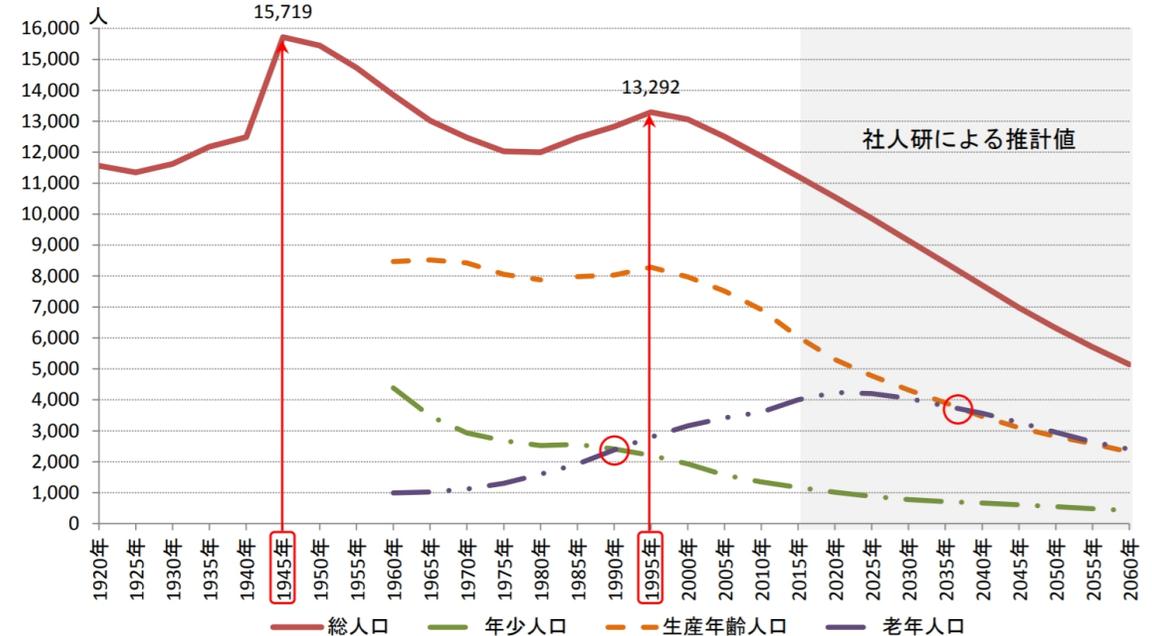


旧三水第二小学校



旧牟礼西小学校

飯綱町の人口推移



出展:飯綱町人口ビジョン(案)

- ・平成27年に廃校舎の利活用について、地域住民と共働で検討するプロジェクトチームを設立、跡地活用を検討し、平成29年に町へ提言書を提出
→地方創生推進交付金事業を活用して、跡地施設を整備することが決まる

令和2年度から廃校活用スタート

愛称を公募し、いいづなコネクトEAST、いいづなコネクトWESTに決定
令和2年度に両校同時オープン



旧三水第二小学校



旧牟礼西小学校

『食・農・しごと創り』を
テーマにした複合施設

令和2年7月OPEN

『自然・スポーツ・健康』を
テーマにした複合施設

令和3年4月全館OPEN

いいづなコネクトEAST



1階を食のコリドーと位置づけ、地域の特産品のりんごを使ったケーキ、シードルのお店を構える、2階はしごとの創業の拠点となるための、ミーティングスペースやコワーキングスペースを用意

1F(食)

2F(しごと創り)



カフェ



シードルショップ



イベント・企画会議
スペース



コワーキングスペース



コミュニティラウンジ

いいづなコネクトWEST



地元の方に気軽に利用がしてもらえるように、ラーメンが食べられる食堂、コインランドリーを用意、人工芝のジュニア用サッカーグラウンドは町外からも多数の利用者が訪れる

1F

スポーツ施設



飲食店



コインランドリー



人工芝サッカー
グラウンド



体育館



会議室

いいづなコネクトWEST 2021年4月オープン



いいづなコネクトWESTは今年度2階・3階・特別教室棟の工事が完了し、2021年4月に正式にオープンしました

2F



コワーキングスペース

3F



宿泊施設

最大50名程度を収容可能
・少年サッカー合宿
・農泊体験
・法人研修
などでの利用を想定

スポーツ棟



スポーツジム



スタジオ

テナント入居企業

各施設には、飲食店やICT、フリースクールなど、多種多様な企業が入居いただいています。
また、飯綱町民が起業したお店や、県外のサテライトオフィス、県外から移住して支店を構えた企業など、入居者もさまざまです。

 <p>iiCONE いいづなコネクト EAST</p>			 <p>iiCONE いいづなコネクト WEST</p>				
 <p>林檎学校醸造所 RINGO SCHOOL CIDERY</p> <p>シードル醸造所</p>	 <p>ICT KOBŌ IIZUNA TOPPAN</p> <p>ICT企業</p>	 <p>TANAKA KENCHIKU Warmth a house made of wood</p> <p>工務店</p>	 <p>あわとり</p> <p>WEB戦略研究所</p>	 <p>Sent. 専科フィットネス</p> <p>フィットネスジム</p>	 <p>OZ Field OZフィールド</p> <p>フリースクール</p>		
 <p>泉が丘 喫茶室</p> <p>カフェ</p>			 <p>Suffix Co.,Ltd. 株式会社サフィックス</p> <p>ジュエリー コーティング</p>	 <p>Human Station.Yasu</p> <p>整体院</p>	 <p>とちのき 食堂</p> <p>カフェ</p>		

いいづなコネクトEAST 2021年度主な実施イベント



日付	イベント名	来場者数
8/21	いいづなコネクトEAST町民見学会	2人
10/16,17	いいづなコネクトマルシェ	約1000人
10/21	短編映画上映会	約60人
11/20,21	いいコネまつり・第2回綿半祭り	約1500人

いいづなコネクトマルシェ 令和3年10月16・17日開催

地元のりんご農家さんを中心として、約20店舗に出店をいただき施設初のマルシェを実施しました。天気はあまりよくない中、地元飯綱町の方、長野市の方などが多数訪れ、2日間で約1000人の方にご来場いただきました。



いいづなコネクトWEST 2021年度主な実施イベント



日付	イベント名	来場者数
7/24,25	第1回綿半祭り	約2000人
8/17	いいづなコネクトWEST町民見学会	13人
11/20,21	いいコネまつり・第2回綿半祭り	約1500人

いいコネまつり・第2回綿半祭り 令和3年11月20・21日開催

コロナウィルスの感染拡大によって開催が延期されていた、いいづなコネクトのオープニングイベントを、第2回綿半祭りと共同にて開催をしました。

EAST・WEST両校での同時開催をなつたイベントには、60店舗以上のお店が出店し、2日間で約3000人の方に訪れていただきました。



施設活用による効果

①各種イベント開催

綿半まつりやいいコネ祭りなどの大規模なイベント以外にも、ワーケーションや、スポーツイベント、子どもの教育イベントなど多数のイベントが開催され、町民への新たな機会提供につながっている

②町外からの訪問者の増加

施設をキッカケに、町外から飯綱町に訪れる方が増え、飯綱町の認知につながっている。2021年4月～12月で約6万人が施設を訪れました。



施設活用による効果(テナント企業)

①飲食店

地域に新たにつどえる場所が創出された。施設の訪問者の3人に1人は飲食店利用で訪れている

②フリースクール OZ Field

飯綱町内、町外から、17名の生徒が通学をしている。子どもがいなくなった元小学校に子どもの声が戻ってきて、近所の方も喜んでいただいている。また遠方より移住してくる方も

③TOPPAN ICT KOBO

地元のりんご農家さんと連携して、ICT技術を使った『バーチャルりんご狩り』サービスを開発。その他、りんごの選果機の開発に取り組むなど、農業のICT化に貢献していただいています。



施設活用による効果(テナント企業)

④林檎学校醸造所

地元の中学生、高校生の地域授業で、生徒たちが企画から製造に携わり、オリジナルシードルづくりを行う、職場体験に貢献



⑤テナント企業同時の交流

テナント企業同士の交流により、新しい仕事生まれるケースも



各テナント企業によって、町に雇用が増えている

いろいろなコネクト施設活用の中長期ビジョン

1. 施設の枠を超え、飯綱町全体ににぎわいや活気を生む

町内他施設と連携を行い、施設への来訪者のアップだけでなく、町のお店、観光施設など飯綱町全体ににぎわいや活気を生むことを目指す。

2. 自主運営によって成り立つ施設へ

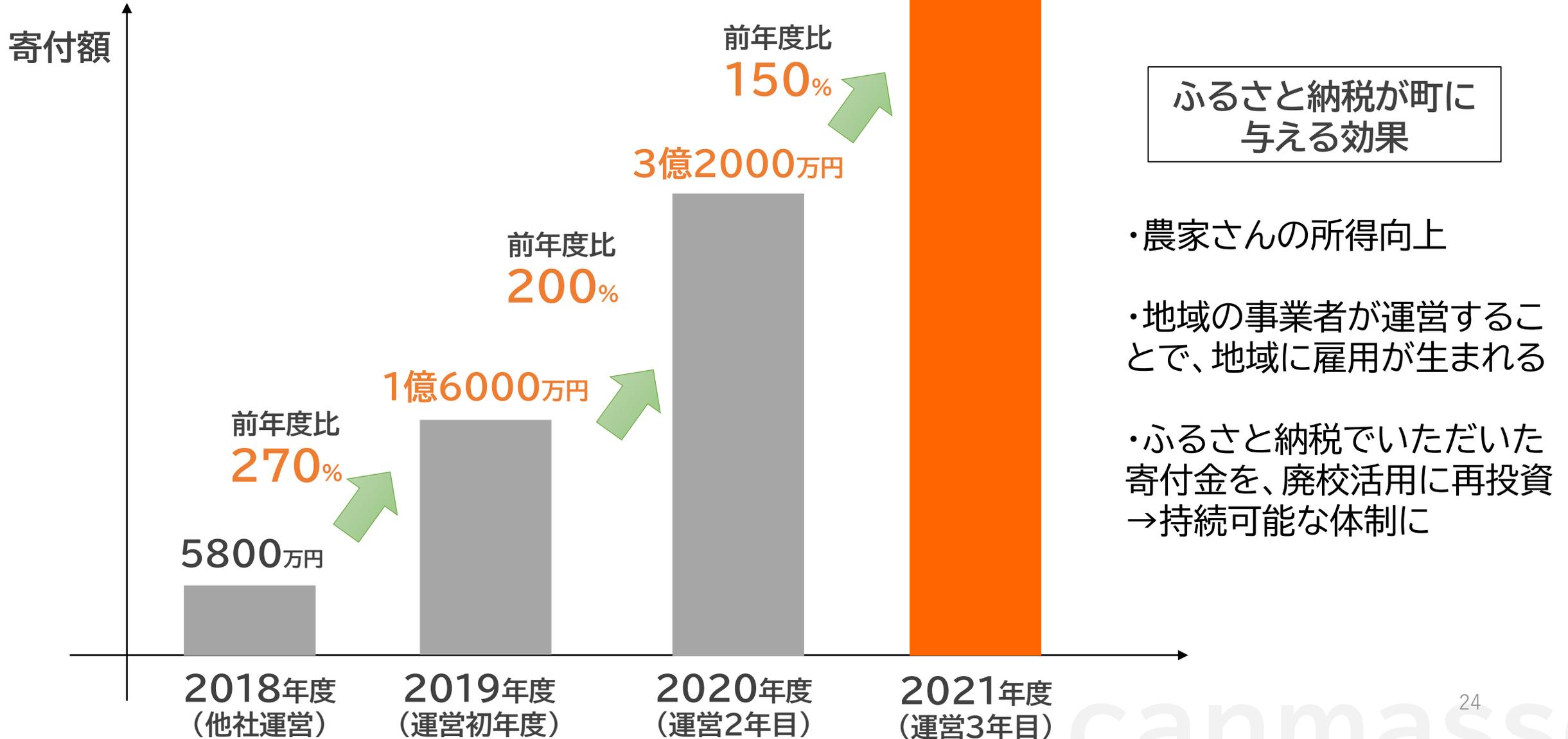
町からの収入に頼らず、施設で発生した売上で運営ができる体制作りを目指す。そのために施設のテナントスペースを埋め、平日日中の施設利用率アップのための取り組みを行う。

3. しごとの創出、企業誘致を行い、社会人口、関係人口を増やす

町に新たなしごとを創出する活動、テナントとして入居する企業の誘致を積極的に行うことで、町の世界人口や関係人口のアップを目指す。

その他行っているまちづくり事業

ふるさとと納税事務運営



飯綱町公式メディア「いいいいいいいな」運営



飯綱町に根ざす町民がライターとなり、それぞれの切り口で「いい」と感じた町の魅力をお届けする、WEBマガジン『いいいいいいいなマガジン』

- ・廃校活用の取り組み紹介
- ・『いいいなフューチャースクール』の情報発信
- ・イベント情報の発信も掲載

ワークセンター「i work」運営

子育て中のお母さんが安心して子育てができるように、コミュニティづくり
子供と離れた自分の時間の確保や、ちょっとした仕事ができるスペースを用意

小商い講座



お仕事マッチングイベント



フューチャースクール運営



より良い未来に向けて自ら行動できる人を増やすことで、地域を活性化していくことを目指して、子供から大人までの各種プログラムを2016年より実施

事業チャレンジ



小学生向けプログラム



北部高校 起業体験

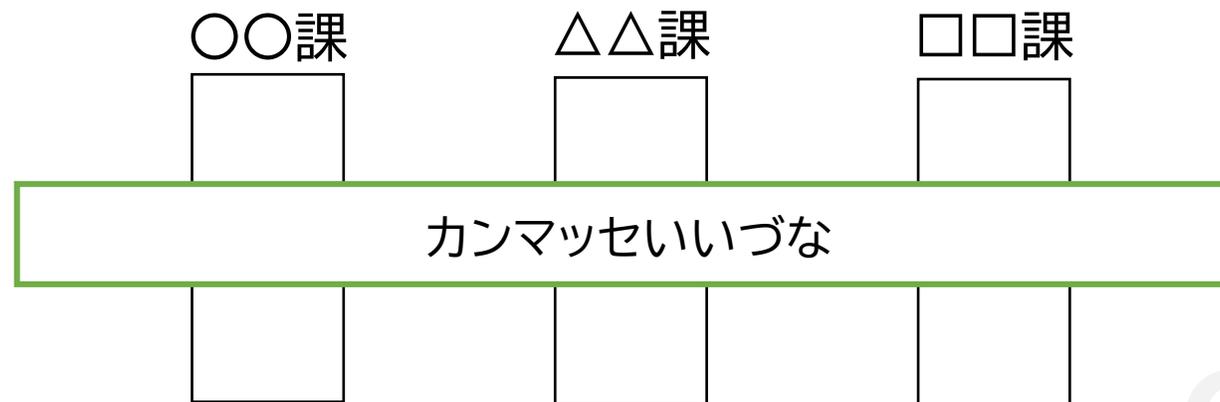


カンマッセいいづなが大事にしていること

1. カンマッセいいづなと、町役場がお互いの強みを生かしてまちづくりを行う



2. 町役場の部署を横断して、まちづくりの施策を実行する



カンマッセいいづなが大事にしていること

3. 町にないものよりも、『あるもの』に着目した、飯綱ならではの企画を作る

- ・公式通販サイト運営

 - 町に当たり前にあったりんごの品種数をPR

- ・リゾートテレワーク体験会

 - 近隣の市町村に比べて弱い観光で押すのではなく、カンマッセいいづなとまちづくりを話せる体験会とした

4. 社員が『楽しめる』仕事をする

- 担当者が『やりたいこと』を大事に

 - とちのき食堂 : 自分たちが日常的に使いたいお店を作る

 - 泉が丘喫茶室 : 店長の個性をフルで生かしたお店